
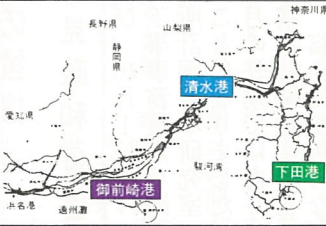


わたしたちが運ぶのは未来です



**運輸省**



# みなと しみず

**発行所**

第五港湾建設局  
清水港湾工事事務所  
御前崎港事務所  
下田港事務所



**伊豆地域**      みなとを考える  
市町村長懇談会



**静岡地域**      みなとを考える  
市町村長懇談会

10月1日付けで、清水港湾工事事務所長として赴任しました藤田です。よろしくお願ひいたします。清水に赴任する前の3年半、マニラにありますがアジア開発銀行で東アジアの途上国の港湾・内陸水路のプロジェクトについて、形成・準備・実施指導・審査といった仕事をしておりました。また、その前の3年間は運輸省の外郭団体で海外の港湾案件のマスタープラン調査やフィードバック調査に従事しておりましたので、国内の業務は6年半ぶりになります。そんなわけで、少々ほけたところがありご迷惑をおかけしていることと思いますが、ご容赦願ひます。

6年半の間、たくさんの外



新任の挨拶  
所長 藤田 郁夫

**新任の挨拶**

国の港湾をみてきました。発展著しいアジアの港湾、とりわけいまや世界を代表するシンガポールや香港、アジアのなかでもこれから積極的に整備をしていこうとする港湾、またヨーロッパを代表するロッテルダム、ハンブルグ、一方でこれから発展が期待される中南米やアフリカの港。それぞれに地域固有の条件のなかで将来の姿を懸命に模索しているのが印象的でした。共通しているのは、港間競争の激化と、港湾の効率化、経済性の追求でした。

日本の港においても例外ではありません。世界の港湾に伍して競争していくためには、ますますの努力が必要となります。清水港においては、いままでも24時間操業等港湾の効率には定評のあったところですが、今般新しい国際規格のコンテナターミナルの計画が認められ、国際競争に本格的に乗り出していく端緒にいたるといえるでしょう。今後は、県、市と一体となってこの計画の円滑な実施に向け努力してまいります。

また、御前崎港、下田港についても円滑な事業の推進に向け、ひきつづき努力してまいります。

### 転任の挨拶

善見政和 (前所長)

このたび、10月1日付けで清水港湾工事事務所から港湾技術研究所計画基準研究室に転任することになりました。1年6ヶ月の任期ではありましたが、清水は海や山の自然に恵まれ、富士山を眺めながら山海の美味を味わい、仕事が出来たことはとても幸運であつたと思つています。

この間に、清水港では漁業補償交渉の解決に、御前崎港では水深14mの多目的国際ターミナル着工に、下田港では新構造防波堤の現地据え付けに立ち会い、それぞれの港の発展の現場に接することができたこと、生涯の思い出になると思ひます。さらに、御前崎町・相良町主催の「港づくり・地域づくりを考える御前崎港シンポジウム」や、清水青年会議所主催の「10万都市を考える清水港シンポジウム」にパネラーとして参加させて頂き、地元の方々の港湾整備にかける熱意を肌で感じる事ができ、当事務所と地域とのコミュニケーションのかけ橋の一助になれたのではないかと思つています。

新しい職場では、これまでの経験をもとに、港湾・海岸・空港の整備の基礎となる投資効果分析などについて全力を尽くす所存です。これまで共に仕事をしてきた地元県・市・

町の方々、また事務所スタッフに感謝の気持ちと、これからの御多幸を祈つて転任の挨拶とさせていただきます。どうぞありがとうございます。

### 静岡地域・伊豆地域

#### みなとを考える市町村長懇談会開催

去る10月16日(木曜日)清水市のマリンビルにて「静岡地域のみなとを考える市町村長懇談会」が、また10月22日(水曜日)熱海市の岡本ホテルにて「伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会」が開催されました。

本懇談会は、港湾所在市町村長の方々に国の港湾・海岸事業施策へのより一層の理解を頂くとともに、五建局長が市町村長の皆様の意見や考え方を直接伺い、地域の事情に応じた港湾・海岸整備の進め方、あり方をともに議論する場として、昨年に引き続き企画されたものであります。

両懇談会とも、清水港湾工事事務所の藤田所長の司会により進められ、黒田五建局長のあいさつのおと、五建大副企画課長及び高野海域整備課長から、平成9年度事業内容と、平成10年度概算要求説明等がなされました。



挨拶する黒田五建局長

次いで、各市町村長から地域の実情の説明や意見要望等

「静岡地域のみなとを考える市町村長懇談会」発言要旨  
黒田五建局長：厳しい国の財政事情で公共事業は今年度と比べ7%削減となった。しかしながら、平成10年度概算要求では、五建管内の重要港湾以上は全国平均を上回っている。今後2年をかけて五建管内の長期構想を策定したい。宮城島清水市長：清水港の新コンテナターミナルについては最近ようやく漁業補償の解決のめどがついた。国の財政事情も理解するが、円滑整備の促進をお願いしたい。

整備にあたっては、環境への配慮、地元に対する付加価値の検討等が必要である。平成11年に清水港開港10周年を迎えることから、港の役割を理解してもらう良い機会であり、また市民に親しまれる港づくりにつとめたい。

八木富士市助役：田子の浦港の更なる発展のため、中央埠頭の改良整備や親水空間の創設等を考えてほしい。維持浸漬土砂の処分について恒久的な対策をお願いしたい。

下村御前崎町長：御前崎港の整備が始まり50年がたったが

ようやく港らしくなり、今年からホンダとスズキの自動車輸出が開始された。

平成15年静岡国体のヨット競技会場に立候補したことから、マリナーを平成14年のプレ国体までに整備してほしい。

黒田五建局長：御前崎町と力を合わせ、御前崎港の整備を推進したい。

片浜地区でふるさと海岸整備を進めてきたが、海岸線が12キロに及ぶことから未整備海岸の事業推進をお願いしたい。

黒田五建局長：厳しい国の財政事情から公共事業は今年度と比べ7%削減となった。平成10年度は、投資重点化により地方港湾の整備港数が20程度減る要求となった。伊豆地域の港湾は現在あるMTP構想計画をその後の社会経済状

況の変化を反映して見直す必要があると考えており、これをもとに計画の実現に向けて努力していきたい。

川口熱海市長：今年親水護岸「ムーアテラス」が完成し大変好評を博している。2期工事についてもぜひ実現に向け配慮願いたい。

離岸堤を利用した噴水設備の整備手法について指導願いたい。夏場の道路渋滞がひどいのでその対策を兼ねた整備をお願いしたい。

堀野伊東市助役：白石MTPを推進中であるが、とりわけ防波堤の整備促進をお願いしたい。防災船「希望」が接岸できる岸壁を整備してほしい。

池谷下田市長：下田港の防波堤整備促進をお願いしたい。下田ドック跡地の再開発に注力していきたいと考えている。

小針南伊豆町収入役：手石港内の「弓ヶ浜」自然海岸の侵食対策をお願いしたい。

篠原松崎町建設課長：松崎港は河川からの流入土砂と狭い道路に悩まされており、新港湾整備の事業促進をお願いしたい。

山本賀茂村長：宇久須港に砂利・採石船の大型岸壁を整備願いたい。

永岡土肥町助役：海水浴場水質改善のため、離岸堤の沖だしをお願いしたい。

斎藤沼津市長：沼津港の耐震岸壁及び物揚場の早期供用をお願いしたい。複合的機能を有した水門を事業採択願いたい。

### 栢原氏による港湾 経済講演会開催

## 湾経済講演会

主催 清水港振興会



1999年清水港開港100周年に向けて、清水港振興会の主催による講演会が9月5日清水マリンビルにて開催されました。講師は運輸省技術総括審議官の栢原英郎氏。テーマは「21世紀の港湾と経済の動向」と題して2時間の講演でした。約130名の参加者は、栢原講師の時折交えるユーモアあふれるエピソードの披露や、運輸省内での出来事の紹介に笑いを誘われながら熱心に耳を傾け、あっという間に時間が経ちました。最後に清水港と御前崎港のこれからの向かうべき方向として、「両港の歴史を踏まえて共存の道を選ぶべきだ」として講演を締めくくられました。

### 「100万都市を考えた 清水港」シンポジウム開催

清水青年会議所（JC）の主催による清水港を主題としたシンポジウムが、9月18日清水市民文化会館にて開催されました。

現在、清水市と静岡市の合併に向けた動きが活発化していますが、同シンポジウムは



- 左から  
コーディネーター  
小桜静岡大学教授  
パネラー  
小島静岡市長  
宮城島清水市長  
善見清水港湾  
工事事務所長  
風間清水青年  
会議所理事長

静岡・清水地域100万人にとっての清水港の役割と将来の方向性を探るねらいで開かれました。

このシンポジウムは3部制で開かれ、まず第一部で清水JCが「100万都市を考えた清水港ビジョン」を発表しました。

また、第2部では岡野静岡県土木部長が「21世紀の清水港を考える」と題した基調講演を行いました。

引き続き第3部のパネルディスカッションでは、小桜静岡大学教授をコーディネーターに、小嶋静岡市長・宮城島清水市長、風間JC理事長、並びに、当事務所の善見所長（当時）がパネラーとして参加し、清水港の将来に向けての活発な意見交換が行われました。

#### 「主な意見」

小嶋静岡市長：昔は静岡茶の輸出で清水港を利用していたが、現在は清水市との繋がりが希薄となっている。今後は清水港の活用を考えた静岡市の産業発展に努力するが、生活とか潤いという視点からの港湾整備を検討してほしい。

宮城島清水市長：港湾の整備を重要課題としてきたが、漁業関係者の理解を得るのに時間が要した。今後は、国及び県と一体となり新港湾計画の具体化を早急に図りたい。また、臨海部の産業活動が

低迷するなか港町としての活動が失われつつあり。港に人を集められる様な魅力ある港の整備にも配慮したい。

善見清水港湾工事事務所長：海運の世界では、コンテナ船の大型化が急速に進んでいることから、水深コンテナバースの整備が急務となっている。またソフト面としてのポートセールスについても今後一層重要となる。港づくりは総合力であり、一般市民の理解とバックアップが不可欠である。

風間JC理事長：大都市のコンビでなく優秀な人たちが定住する、通過型から滞留型への街づくりへの転換を目指すべきである。

### 清水日本平マラソン

10月26日（日曜日）清水市などの主催によるマラソン大会が開催されました。

当日は快晴のマラソン日和となり、日本平からは清水港や富士山がくっきり姿を現し、各選手を応援しているかのようでしたが、ランナーはひたすらゴールを目指し走りました。

当事務所からも多数がエントリーし、残念ながら入賞は逸したものの全員が無事完走しました。



20 km コース  
望月徳雄（工務課）  
10 km コース  
舟戸 睦（庶務課）  
田村 誠（工務課）  
大塚尚志（工務課）  
小早川真喜子（庶務課）  
本多宗隆（本局工事課）

### 職員と家族による 清水港見学会



から  
パ 祐 孝 耶 穂 理  
健 和 紗 梨 友 由  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥  
左 健 和 紗 梨 友 由 利 江

職員の家族から、「お父さん・お母さんが日頃どんな仕事をしているのか知らない」との声があがり、それに答えるために「家族で清水港を見る会」を実施しました。

夏休みも残り10日となった8月21日に5家族19名が参加し、当所監督測量船「まきさき」にて清水港内1時間の船旅を家族と共に楽しみました。最初子供達は乗り慣れない船とあって緊張の顔つきでしたが、お父さん、お母さんと一緒のためかすぐに普段どおりのワンパク振りを発揮するなど、楽しい夏の思い出となった一日でした。

### ◆ 清水の史跡 ⑫ ◆ 三池平古墳

庵原中学校の裏山に三池平といつて、清水平野を一望できる、大変見晴らしのよい丘があります。その山上から三池平古墳という前方後円墳が昭和31年に発見され、調査の結果四世紀末から五世紀初頭に作られたもので、当時、古代盧原(いははら)の地を支配していた盧原君(いははらのきみ)の墳墓ではないかと推定されています。

大和政権が確立した七世紀頃、すでに庵原には地方権力の中心地としてかなり大きな集落があり盧原と呼ばれていたそうで、西暦663年に朝鮮半島で行われた白村江(はくすきのえ)の戦いには、盧原君(いははらのきみ)が軍将として参加していたともいわれています。

この古墳からは鏡や鏃(やじり)、農具などたくさんのお宝が発見されており、学術的意義もかなりおおいとのことでもあります。



出土品の一部は庵原公民館に展示してありますので興味のある方は是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

### 御前崎港だより

#### ドリーム'97開催



10月11日・12日の両日、強風の吹き荒れる中、御前崎港において御前崎シーサイド・ドリーム'97「海と風の産業フェスティバル」が開催されました。2日間にわたり、ダンスコンテスト、帆船の体験航海・見学会、スポーツカイト・ウィンドウィラーの体験会、地元特産品の即売などのイベントやアトラクションが催されました。

当事務所は、昨年同様、監督測量船「ふじ」の体験乗船を行いました。1回30分程度の航海で御前崎の町を海から眺めながら、私たちの仕事や港の役割を説明し、乗船された方々は快適な航海を満喫していました。なかには、乗船するとき「風が強くて揺れそうなので心配だ」と話して

た方もいましたが、下船時には「揺れも少なくとても良かったです。こんなすばらしい船に乗せてもらってありがとうございます」とねぎらいの言葉も頂きました。体験航海は午前・午後で9回行いましたが、先着申し込み順での乗船のため2航海(1時間)待つともう方もおり、最終の航海のときには、乗船希望の方が定員をオーバーし一部積み残しが出るなど大盛況でした。

### 清水港への入港 客船・帆船案内

新さくら丸(客船)  
12月27日(予定)  
青年の船(出港)  
1月7日(予定)  
青年の船(帰港)

飛鳥(客船)  
2月22日(予定)

ニューゆつとびあ(客船)  
3月23日~24日(予定)  
洋上テレビ寺子屋

### 管内の動き

- 8月 御前崎マタイ体験放流
- 6 清水港みなと色彩計画推進協議会
- 5 静岡県防災会議
- 2 静岡県議(港湾議員連盟所属) 清水港視察
- 2 静岡県議(港湾議員連盟所属) シーサイドドリーム97実行委員会 柘原技術総括審議官講演 王滝村青年部御前崎港見学会 清水JIC「100万都市を考えた清水港」シンポ
- 18 日大清水港視察
- 20 静岡県議会議員御前崎港見学会 御前崎港「空っ風」発行 清水港視察(一般人)
- 29 10月 国体準備委員会設立総会 機関長会議
- 7 11 12 さかな王国海のフェスティバルシーサイドドリーム97 「体験乗船会」
- 13 16 17 18 22 24 28 30 31 東海地区港湾整備促進大会 静岡地域市町村長懇談会 清水港湾連絡協議会定例会 伊豆地域市町村長懇談会 清水港開港100周年の会中間報告会 帆船「海王丸」寄港歓迎セレモニー 清水港視察(清水港管理局関係) 清水港湾技術研究会 工事見学会

※発行所\*  
清水港湾工事事務所  
〒424 静岡県清水市日の出町七一  
TEL(〇五四三) 五二一四一四六代